



2022年度 決算説明資料

2023年5月

今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

(東証プライム市場:1939)



- I. 2022年度実績
- II. 2023年度業績予想
- III. 株主還元
- IV. トピックス

I. 2022年度実績

【建設業界】

- 設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、受注環境は比較的良好
- 資機材の調達遅延や価格上昇などにより、工事進捗や工事原価への影響に留意が必要な状況

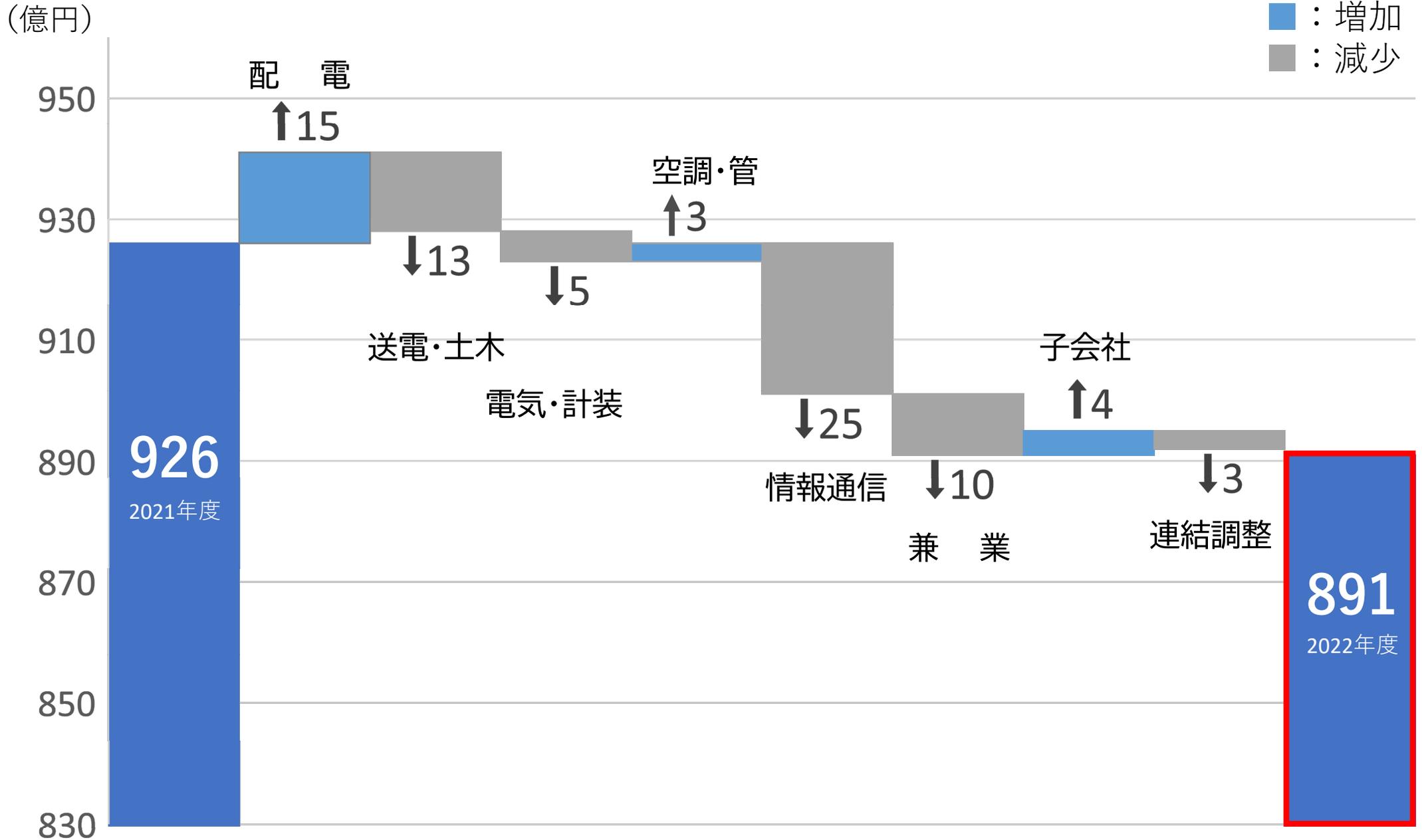
- 受注高は高水準を確保
- 売上高・利益は前年度比「減収・減益」
 - 大型工事の進捗が極めて高い水準にあった前年度の反動に加え、資機材の調達遅延の影響などから減収・減益

連結業績 (単位：億円)	2021年度	2022年度	前年度比
受注高	914	912	▲1
売上高	926	891	▲35
営業利益	54	49	▲4
経常利益	61	55	▲5
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	37	▲0
1株当たり 当期純利益※	240.53円	239.24円	▲1.29円

※ 2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、比較の便宜上、1株当たり当期純利益は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

3. 売上高増減要因:連結

I. 2022年度実績

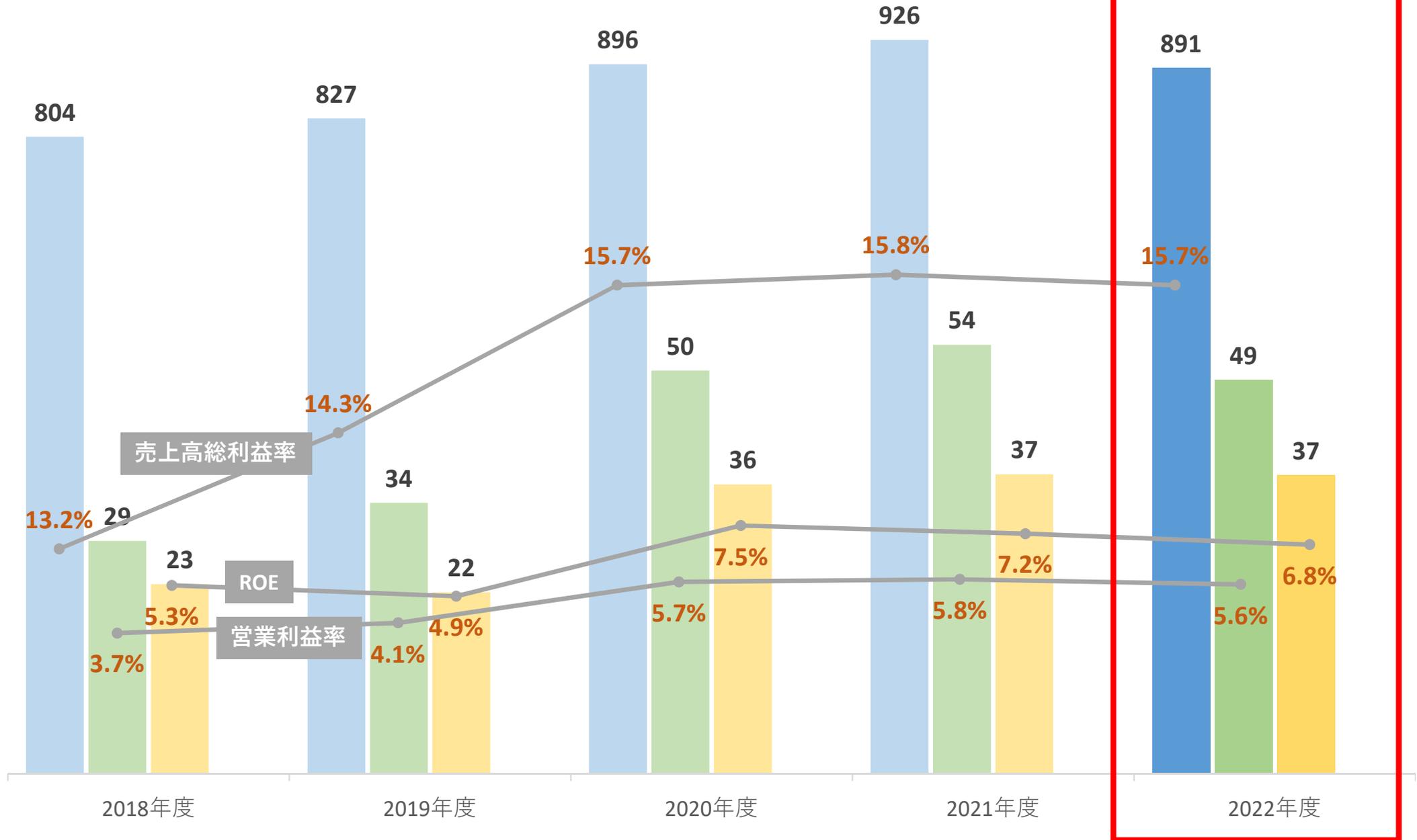


4. 主な経営指標の推移:連結

I. 2022年度実績

(億円)

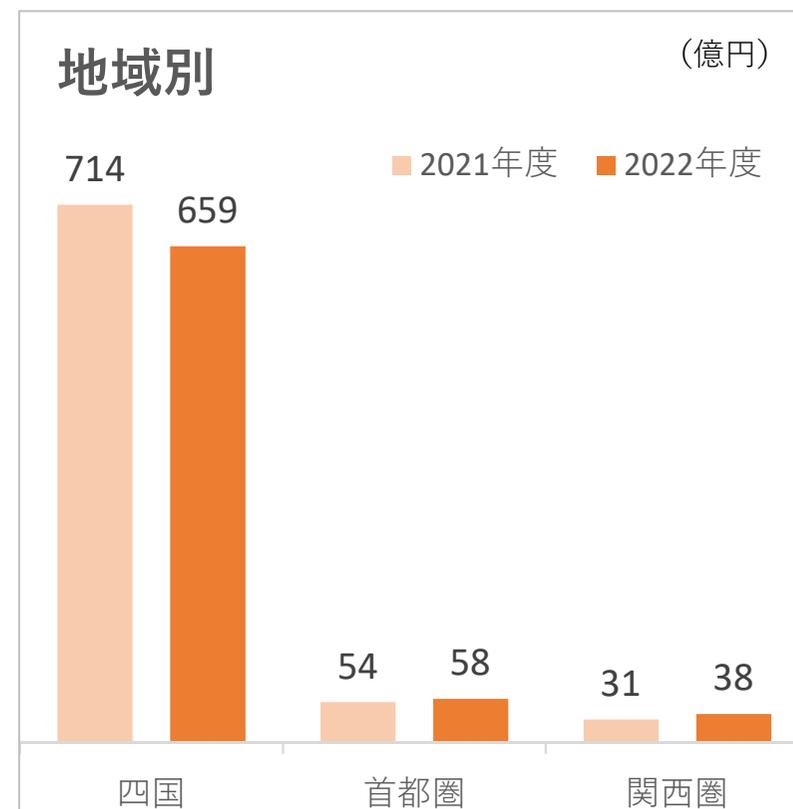
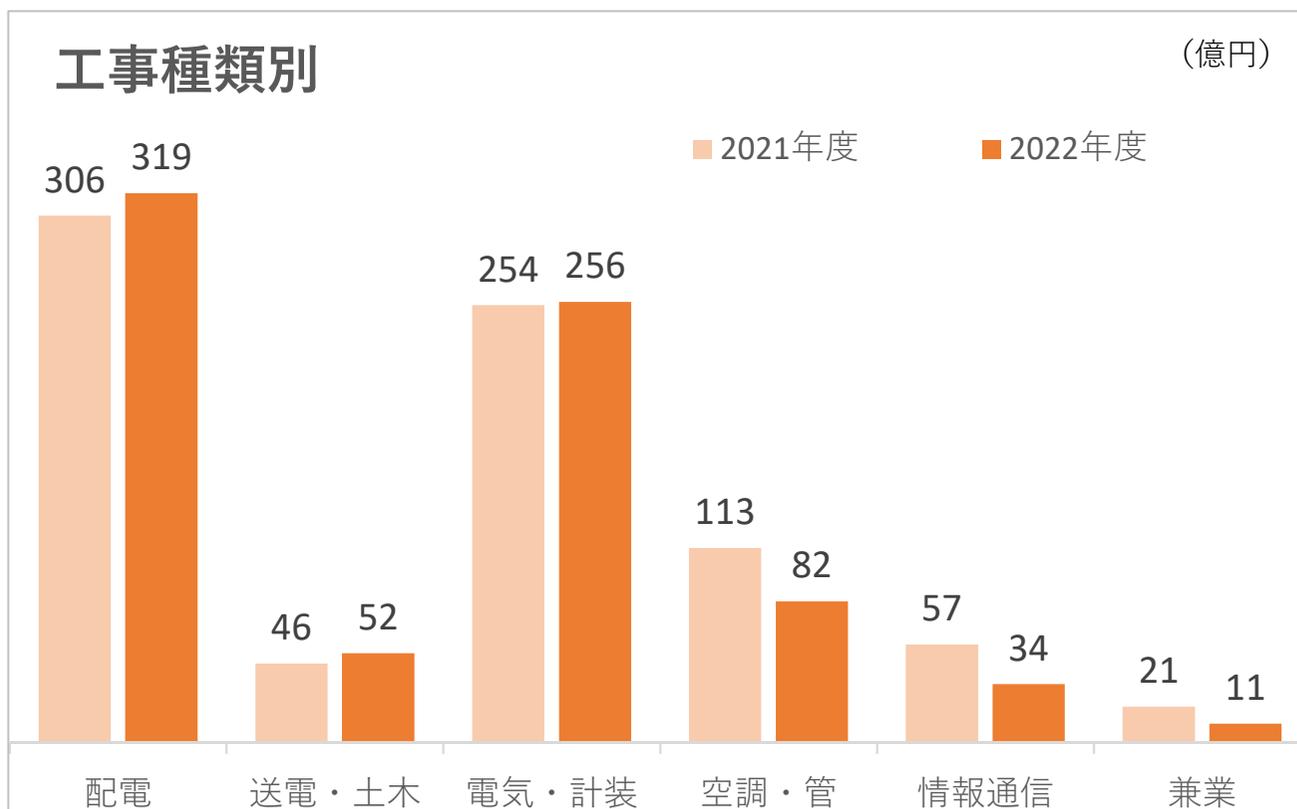
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益



5. 四電工単独の業績

- 受注高は、756億円であり、前年度比▲43億円減。
 - 前年の大型工事受注の反動減となったが、高い水準を維持

単独業績 (単位：億円)	2021年度	2022年度	前年度比
受注高	800	756	▲43

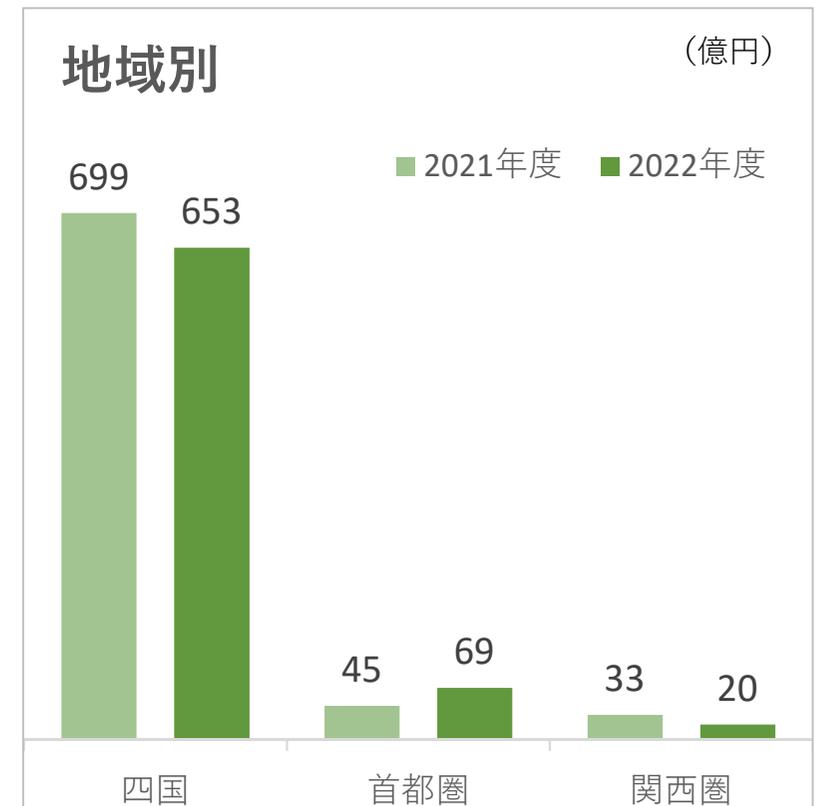
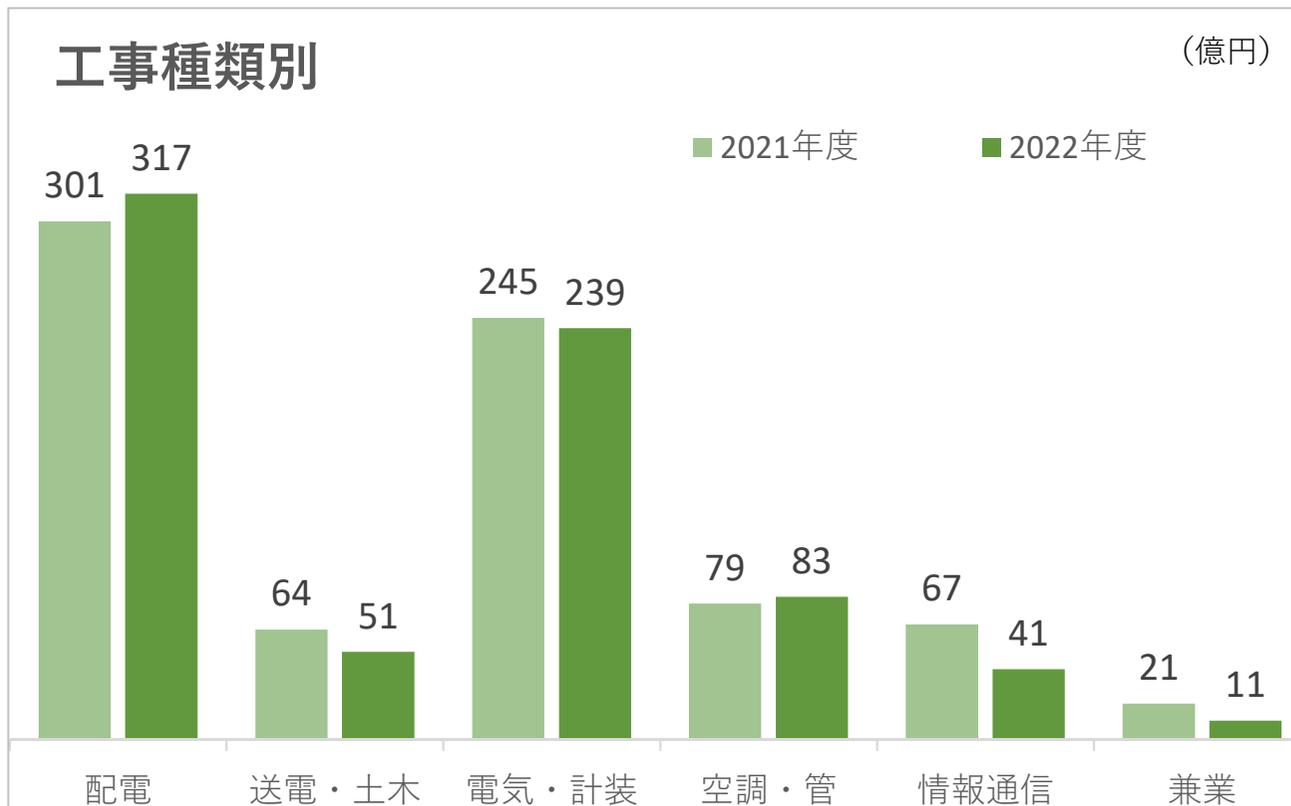


6. 四電工単独の業績

■ 売上高は、743億円であり、前年度比▲35億円減。

➢ 大型工事の進捗が極めて高い水準にあった前年度の反動に加え、資機材の調達遅延の影響などによる

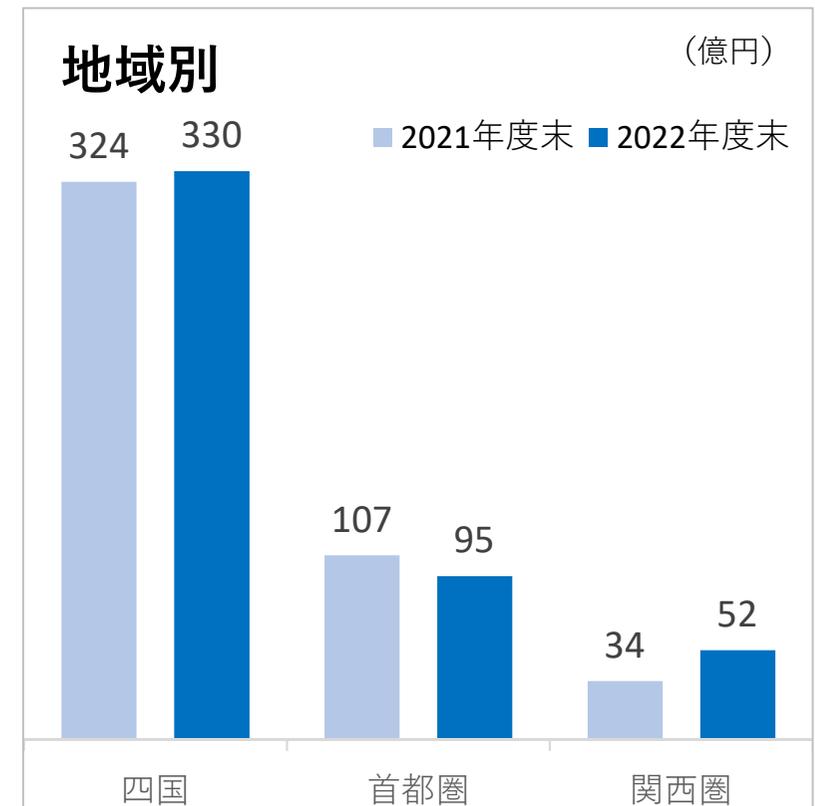
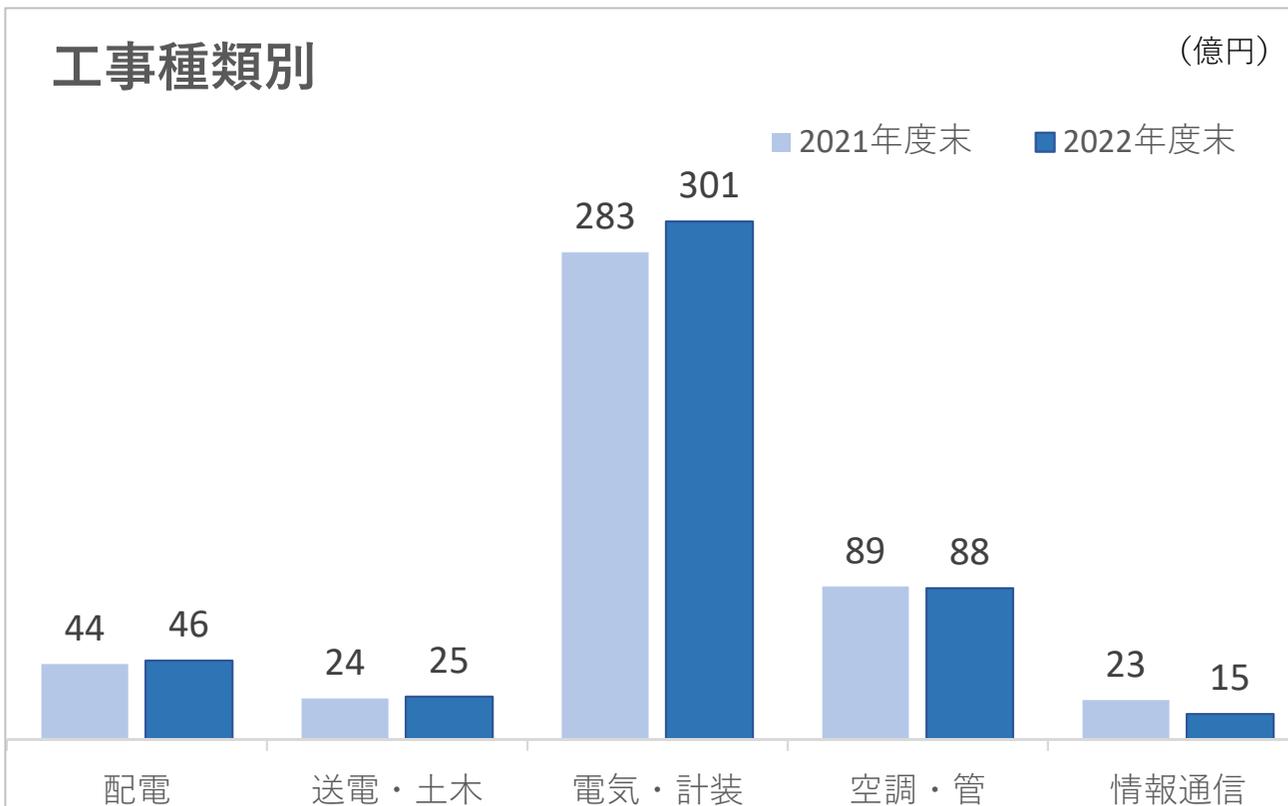
単独業績 (単位：億円)	2021年度	2022年度	前年度比
売上高	779	743	▲35



7. 四電工単独の業績

- 繰越工事は、478億円であり、前期末比+12億円増。
 > 過去最高水準の繰越工事高を維持

単独業績 (単位：億円)	2021年度末	2022年度末	増減額
繰越工事	465	478	+12



8. 財政状態:連結

I. 2022年度実績

連結業績 (単位：億円)		2022年3月末	2023年3月末	増減	主な増減要因
	流動資産	503	536	+ 33	受取手形・完成工事未収入金等 +17
	固定資産	461	434	▲27	
資産合計		965	970	+ 5	
	流動負債	294	295	+ 1	
	固定負債	129	116	▲12	長期借入金 ▲11
負債合計		423	411	▲11	
純資産合計※		541	559	+ 17	当期純利益 +37 2021年度期末配当 ▲8 2022年度中間配当 ▲7
負債純資産合計		965	970	+ 5	
自己資本比率		56.1%	57.5%	+ 1.4	

※ 純資産は、「非支配株主持分」を含む。

9. キャッシュフロー計算書:連結

I. 2022年度実績

連結業績 (単位:億円)	2021年度	2022年度	2022年度の内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	99	38	税金等調整前当期純利益 56 売上債権・未収入金の増 ▲24
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲15	1	投資有価証券の売却による収入 13 有形固定資産の取得による支出 ▲13
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲25	▲31	長期借入金の返済による支出 ▲31 配当金の支払額 ▲15 長期借入れによる収入 17
現金及び現金同等物の増減額	57	8	
現金及び現金同等物の期首残高	133	190	
現金及び現金同等物の期末残高	190	199	

<主な完成物件>

地域	工事種別	工事件名
愛媛	電気、管	松山赤十字病院新病院建設事業 病院棟外建築工事
高知	電気	高知市文化プラザ長寿命化整備事業
徳島	電気、空調・管	富田病院東棟増築工事
香川	送電	西通線4Lケーブル張替
愛媛	情報通信	西条地区ピカラエリア拡大工事

松山赤十字病院



高知市文化プラザ



富田病院



Ⅱ. 2023年度業績予想

■ 連結の業績予想は、増収・増益の見込み。

連結業績 (単位：億円)	2022年度 実績	2023年度 予想	増減額	前年度比
売上高	891	970	+79	108.8%
営業利益	49	55	+6	110.6%
経常利益	55	60	+5	107.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	39	+2	103.6%
1株当たり 当期純利益	239.24円	247.70円	+8.46円	—

- 単独の業績予想は、増収・増益の見込み。(当期純利益は減益)

単独業績 (単位：億円)	2022年度 実績	2023年度 予想	増減額	前年度比
売上高	743	820	+77	110.2%
営業利益	31	34	+3	108.7%
経常利益	40	41	+1	101.3%
当期純利益	30	28	▲2	91.6%
1株当たり 当期純利益	194.17円	177.84円	▲16.33円	—

Ⅲ. 株主還元

1. 株主還元方針

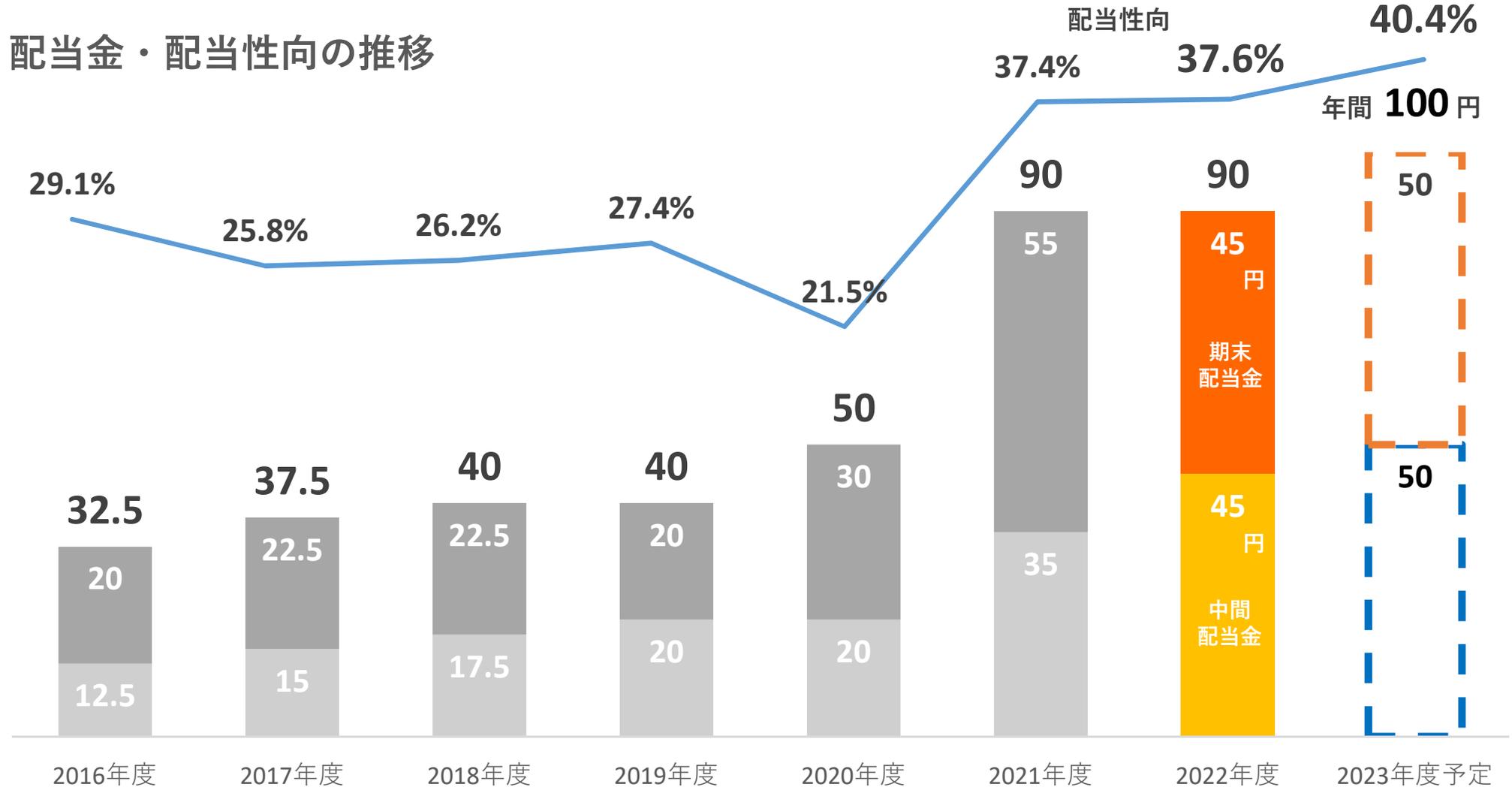
株主還元方針（『中期経営指針2025』より）

- 事業活動を通じて得られた利益について、株主の皆さまへは、「**連結配当性向30%以上**」を目安に、持続的かつ業績に即した還元を行ってまいります。

仮に今後の景気動向等によって一時的に減益となった場合でも、
極力、配当水準の維持に努めてまいります。

2. 配当金・配当性向の推移

- 2022年度の期末配当金については、1株当たり45円(年間90円)を予定。
- 2023年度については増配し1株当たり年間100円を予定。



※ 2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施し、2021年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施しております。そのため、1株当たり配当金は現在の株式数に換算した金額を記載しております。

IV. トピックス

設立60周年記念



当社は、2023年5月1日に設立60周年を迎えました。これもひとえに当社グループを支えていただいた皆さまのご支援のおかげであり、深く感謝いたします。

引き続き、次の5年、10年に向けて、成長投資や人財投資を積極的に進めるとともに、ステークホルダーの皆さまとの共存共栄を図りながら、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

今後ともご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



社内公募で選出された記念ロゴ3種



60周年記念式典の様子

経営理念の刷新



経営理念の刷新

設立60周年を迎えた2023年5月に、当社の存在意義や使命・価値観を再定義した新しい経営理念を制定しました。

■存在意義(Purpose)

進化する総合設備企業として人と社会と未来をつなぎます

■使命・価値観(Mission&Value)

- ・強靱なインフラを構築し、社会を持続的に支えます
- ・機能性豊かな設備環境を実現し、お客さまの期待に応えます
- ・人を大切にし、技術を磨き続けます

進化する総合設備企業として

当社は、設備工事をオールラウンドで担う「総合設備企業」です。これからも技術を磨き、進化を続けていくという決意を表すとともに、設備工事によって設備を空間軸で「つなぐ」ことで豊かな設備環境を実現し、時間軸では人や社会の営みを未来に「つなぐ」役割を果たしていく、という思いを込めました。

Purpose 存在意義

進化する総合設備企業として
人と社会と未来をつなぎます

Mission&Value 使命・価値観

強靱なインフラを構築し、社会を持続的に支えます
機能性豊かな設備環境を実現し、お客さまの期待に応えます
人を大切にし、技術を磨き続けます

Mindset 経営心構

熱意
PASSION

自律
SELF DIRECTED

協働
COOPERATION

感謝
GRATITUDE

© 2023 YONDENKO CORPORATION. All Rights Reserved.
株式会社 四国工

人財の育成・技術継承



技能オリンピック 1位～3位を独占

2022年11月、四国電気安全委員会主催の「第54回 屋内配線工事技能オリンピック」が開催され、当社社員が1位、2位、3位の上位入賞を果たしました。独占入賞は当社4度目の快挙です。

本大会は、出場者が「快適・安全な暮らしをサポートする屋内配線工事」をコンセプトとする課題に挑戦するもので、施工の正確さ、速さ、仕上がりの美しさなどが審査されました。



技能オリンピック

就学・就労支援資金等への資金拠出

若者の就学支援および地元での雇用創出を目的とする制度※の趣旨に賛同し、昨年に引き続き、四国各県の基金へ資金拠出を行いました。

(※ 奨学金の貸与を受けて大学等に進学し卒業した者が、県内の企業に一定期間就労した場合に奨学金返還の一部を支援するもの)

技術発表会を開催

当社では、最新技術・工法の採用や顧客要望事項の多様化に対応するため、社内における技術情報の共有を目的とし、「技術発表会」を開催しています。2022年度は11月に本店で開催され、活発な意見交換や質疑応答が行われました。



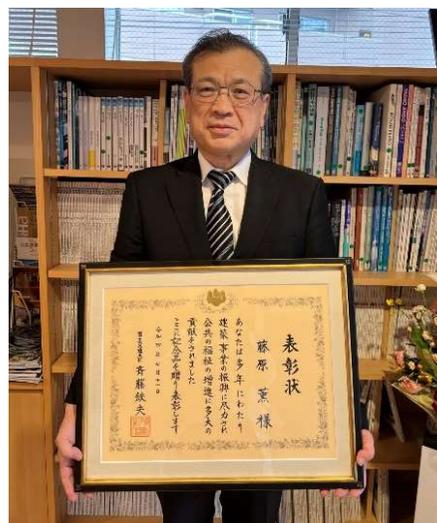
技術発表会

電力の安定供給に向けて



雪害による電力設備被害 復旧活動

2022年12月、高知市内では観測史上1位の積雪となり、特に高知県、愛媛県の山間部では倒木等による停電が数多く発生しました。県外からの応援や自治体の除雪作業とも連携しながら懸命に巡視・復旧作業に取り組んだ結果、約5日間で停電を解消することができました。地元の方々からも励ましのお言葉をいただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも、ライフラインを守るという使命を果たすべく、全力で取り組んでまいります。



グループ会社情報



国土交通大臣から表彰

当社グループの株式会社鈴木建築設計事務所(山形県)の藤原薫社長が、「建設事業関係功労者等国土交通大臣賞」を受賞しました。

- 本資料記載のデータや業績予想等、将来に関する記述については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は種々の要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 四電互

企画部

〒761-8565

香川県高松市花ノ宮町2丁目3番9号

TEL: (087)840-0223

E-mail: hnkikaku@mail.yondenko.co.jp